

お作法教室

～鳶巣幼稚園児の茶道教室～



2月7日、お作法教室の集大成として幼稚園児から保護者の方へお茶とお菓子のふるまいがありました。親子ともドキドキの瞬間です。



園児の堂々とした姿に我が子の成長を感じ、保護者の皆さんも目を細めておられました。お作法で培ったことを忘れないでほしいと思います。



毎回、会場準備、季節のお花、掛軸を飾っていただいた、スタッフの皆様の心遣いに感謝します。後日、年長児さんからスタッフ宛に、可愛い記念の写真立てのプレゼントがありました。

お作法教室

鳶巣幼稚園教頭 寺本真理子

鳶巣幼稚園では、毎月1回コミセンで地域の皆さんにお作法教室を開いていただいています。1学期は見学のみ3才児も、2学期からはお茶をいただく作法をやってみます。最初はお箸で菓子をつかみにくかったり、ずっと正座をしていることが難しかったりしましたが、4才児、5才児と学年が上がるにつれ、上手になっていきました。

子供達は箸の使い方や座る時の姿勢、歩き方を学んだり、お菓子やお茶をいただく時に隣の人と「お先です」「どうぞ」というやり取りをしたりして、お互いに思いやりの気持ちを言葉で表す経験をしています。

また、公共の施設（コミセン）を利用する時のマナーや、作法教室での厳かな雰囲気を感じ取りながら、場に応じた態度も学んでいます。また、地域の方に、少しずつできるようになったことを「上手になったね」と褒められることは子ども達が作法教室に向かう喜びや自信に繋がっています。

毎年2月に保護者の方に子ども達の作法教室の1年間の成果を見ていただく場を設けています。

「家では正座をしてお茶をいただくという機会がないので、貴重な経験をさせてもらって感謝しています」「3年間でお作法がしっかり身につについて、とてもいい経験をさせてもらっています」「家でも箸の使い方など気を付けて過ごしたいと思います」などの感想が寄せられました。今後も地域の皆様のご指導を受けながら、日本の伝統文化やふるまいを学んでいきたいと思っています。



先駆的な福祉のまちづくり事業

～第2回地域交流サロン健康栄養相談会～

2月18日(土)島根県立大学出雲キャンパス主催の今年度2回目となる「栄養相談会」が川北町内の会館で開催され、町内のみなさんと学生さん25名が楽しく交流しました。

健康観察コーナーでは、血圧測定・酸素飽和度測定や健康相談などがあり学生さんから日頃の血圧管理など丁寧にアドバイスをもらいました。また、乳幼児が誤って異物などを飲み込んだ時の応急処置の仕方などについても人形を使って丁寧に教えてもらいました。その後、健康栄養学科の学生さんと一緒にパンケーキにイチゴやバナナ、生クリームなどをおしゃれにトッピングしてみんなで楽しく会食をしました。

今回の交流会も川北町内にシェアハウスがあることからできた交流会ですが、空き家が増えている現状をふまえ、このようなシェアハウスが他の町内でもできることで、地域と学校が連携した事業が開催できたらと願います。

